

なごやの学童保育

市連協ニュース No.11

2017年度・3月6日発行
 名古屋市学童保育連絡協議会
 TEL (052)-872-1972
 FAX (052)-308-3324
 E-Mail: info@gakudou-nagoya.org

HP <http://gakudou-shirenkyou.nagoya/> Facebook <https://www.facebook.com/NagoyaNoGakudouHoiku>

指導員不足、負担増など悩み

区連協会長会議を開催

名古屋市学童保育連絡協議会は2月20日、金山の労働会館で区連協会長会議を開きました。

市連協からは、国や名古屋市の動きを報告。市が2018年秋から実証をしようとしている、2、3カ所の運営委員会を一つにして指導員を雇用する「合同運営委員会」などを改めて説明しました。

各区連協の会長や代理出席の役員からは、それぞれの現状や悩みについて、以下の発言がありました。

●区連協の退会がある。対処策を教えてください。●区連協は全学童が加盟し情報交換を重視。●合同雇用の形態を変えた。●課題は指導員不足、土地問題、会計の負担。会計の委託を検討中。●5学童で役職を持ち回り。合同で運動会もやる。●区連協は3学童。大きな問題はない。指導員同士が仲が良い。区懇談も円満。●1カ所が区連協を退会。合同説明会などには声がけをしている。ベテランが出向いて指導する交換研修を総会に提案する。●11学童中、9学童が合同雇用。区連協に指導員も参加し、雰囲気良く、時間を短く。ほぼ欠席もなく参加。役員は輪番。●区連協で今週末ウォークラリー。200-300人規模。●児童増えすぎ、どう断るかの悩みも。●2カ所が分割。児童数が増えている。●今年初めて区懇談。土地探しの広告を出してくれた。合同説明会は、どういう方向性でやるかは課題。各役割の負担感大きい。●区連協は3学童で仲良い。役割分担が大変。指導員の確保が困る。●区連協は負担が多く会議を月1から隔月に。●役員は輪番。仲良くやっている。コマ大会を年1回開き、議員もくる。●区連協は5学童。10年で学童保育所数が半減した。残ったところは児童数が増えている。●担当が多すぎ、

との意見あり、負担軽減を検討する。土地探し、指導員雇用、騒音、路上駐車へのクレームなども課題。児童数10人で存続の不安があるところも。●一昨年から9月にフェスタ。スライドを上映、おやつの紹介、指導員の説明など。負担軽減は難しい。

特徴・なごやの学童保育② 退所が少ない

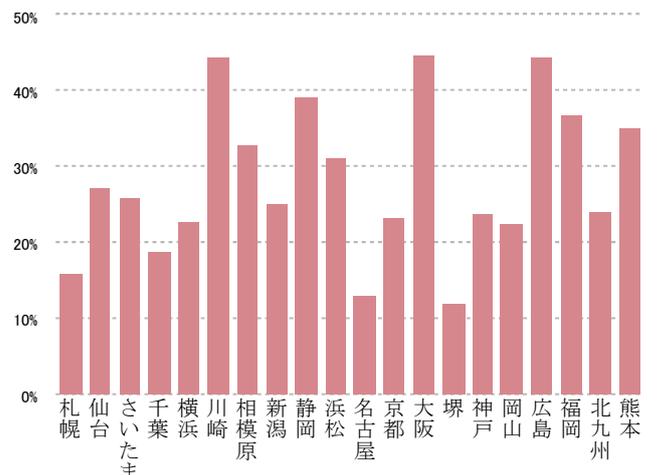
グラフは、2014年度の1年生入所児童数に比べ2016年度の3年生の入所児童数が各政令指定都市でどれだけ減ったかを示しています。退所率とは同じ値ではありませんが、入所した1年生が2年間でどれだけ退所するか、傾向が見て取れます。

名古屋市は、堺市に次いで低い値です。なお堺市は、名古屋市でいうトワイライトスクールが学童保育であり、単純な比較はできません。

名古屋市は、政令指定都市の中でも保育料が高く、学童保育指導員の給与も高い水準にあります。保護者の運営面のがんばりと学童保育指導員の保育でのがんばりが、低い退所率、すなわち子どもの定着につながっているのではないのでしょうか。

入所児童数の減少率（退所率）

$(14年度1年生数 - 16年度3年生数) \div 14年度1年生数 \times 100$



あいち研究集会に800人

4日、名古屋市の金城学院大学で名古屋市連協も主催団体である「第34回あいち学童保育研究集会」を開き、北海道から岡山までの県外からの参加者を含め、約800人が参加しました。

午前には記念講演に、長年小学校の先生を務めた現在は名古屋大学准教授の鎌倉博さんが登壇。体験を通して生き生きと学ぶ子どもたちの様子を紹介し、会場の共感を集めました。午後からは参加者が23の分科会に分かれ、熱心な討議や和気会々とした交流が行われました。



大人気分科会、子どものコミュニケーションとSNS

子どもたちは興味津々（保育の様子）



朝の受付からすでに熱気



少人数の分科会でも熱い討議



福島からの特別報告



記念講演に聴き入る参加者



書籍販売コーナーも人気